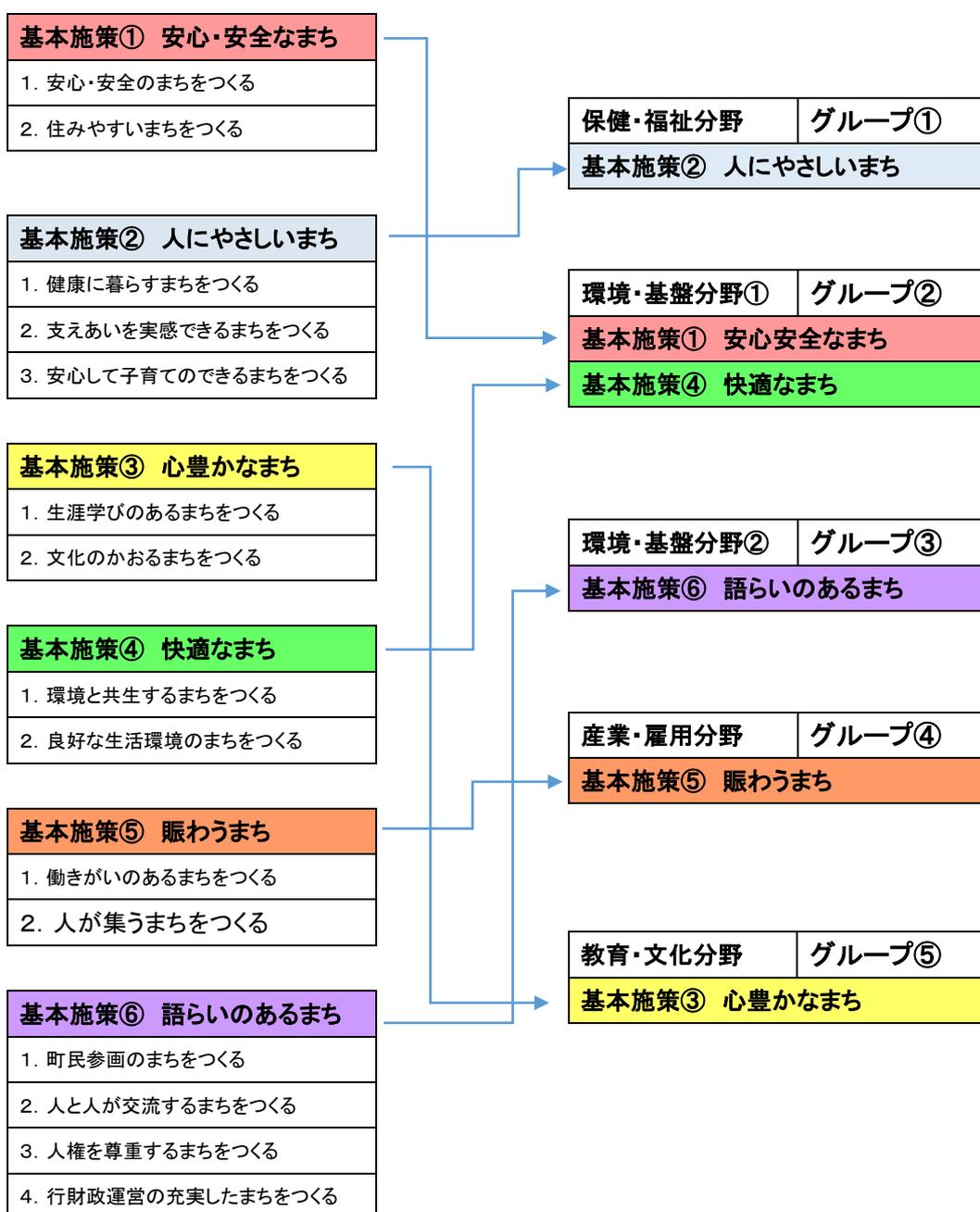


第5次総合計画中間評価会議

■第5次総合計画中間評価会議 評価、検証結果について

第5次総合計画の6つの基本施策を以下のように5つの分野に分け、この分野ごとにグループで評価、検証を行いました。（計画策定時のとういん未来会議と同じ手法で行いました）

評価、検証結果は、グループごとに概要版、詳細版でまとめています。



第5次総合計画中間評価会議

評価、検証結果 **概要版**

■保健・福祉分野

基本施策② 人にやさしいまち（担当 グループ①）

母子教室などの参加者数が目標値を大きく上回っており、施策実現のため意欲的に取り組んでいます。これが子育ての町にも繋がっていると思われます。一方、特定保健指導受診率の目標達成度はかなり低く、認識が町民に伝わっていない状態です。

高齢者福祉の面では、今後高齢化が進む本町で、まだまだ元気な高齢者が働ける場所などを確保して行く必要がありますが、シルバー人材センターの会員数が減少し、目標値に届いていません。

介護予防事業参加者数は大きく目標値を上回っており、活発に取り組んでいますし、健康維持への取り組みをしている高齢者の割合も概ね目標どおりの結果が出ています。

子育て支援の充実の面では、様々な取り組みのPR不足の印象があり、今後は子育て支援の情報発信に力を入れるべきと考えます。

■環境・基盤分野

基本施策① 安全・安心なまち（担当 グループ②）

自主防災組織の組織率は高く、施策の取り組みが効果を出しています。今後も実のある活動の継続が必要です。自治会の問題が自主防災組織の問題にも繋がるので自治会の加入や自治会の高齢化の対策は必要です。

また、避難所を知っている町民の割合が低く、大災害に備える町民の意識はまだ浸透していないようです。被害予想など色々な情報を町民にも分かりやすく伝えていく必要があります。

交通、刑法犯、交通安全の指標の達成度が悪く、イオンモール東員の影響が大きいのであれば、その対策が必要と考えます。

住宅着工数は目標を達成しており、今後も子育てしやすい町の印象を高めるなど、子育て世代の定住を進めていくべきです。

道路、歩道の整備も計画通りに進められておりますが、町民の満足度が低い原因は調査が必要と考えられます。また公共交通の満足度も低く今後の対策が必要です。

基本施策④ 快適なまち（担当 グループ②）

町民一人当たりのごみの排出量は、横ばいで推移しており、目標を達成していないが、可燃ごみの減量は、水分を減らすなどの町民に意識を持ってもらうような地道な施策展開が必要です。生ごみ堆肥化容器設置補助の交付件数は目標に届いておらず、制度の周知不足が原因と思われます。可燃ごみ減量にも繋がるため目標値達成を目指した取組みが必要です。

資源ごみの取組みでは、フリーマーケットが賑わっていて良い取組みとなっていますが、リサイクルバンクの取組みは手法の改善が必要ではないかと感じます。

環境衛生対策では、不法投棄件数が目標値に達していませんが、平成26年は大幅に減少しておりますので、現在の取組みが効果的と考えます。

公園整備の面では、中部公園で稼げる仕組みを進めるとともに、中部公園以外の公園の魅力向上にも努めるべきではないかと考えます。（町の公園の満足度が低い）

基本施策⑥ 語らいのあるまち（担当 グループ③）

町の広報、ホームページに満足している人が約45%と少ない結果なので、何らかの対策が必要と考えられます。また地域活動やボランティア活動に参加している町民が約27%という結果も非常に少ない状況です。地域に積極的に係わろうとする町民を増やしていく必要性を感じます。

情報化の推進の面でも満足度は低い結果となっておりますが、ホームページの更新が随時行なわれていて最新情報が得られることや、行政情報配信メールの取組みは良いと思われれます。今後は時代に沿った取組みとしてWi-Fiスポットの整備を進めるべきと考えます。

交流活動の推進では、大きく目標値に届いておらず縮小傾向です。例えば外国人を視野に入れた交流活動などの施策の拡大が必要です。

男女共同参画社会の実現では、2つの指標ともに、目標値を達成しておりますが、現実はまだまだ性別役割意識が強いことや、女性がリーダーになるロールモデルが少ないと感じます。

■産業・雇用分野

基本施策⑤ 賑わうまち（担当 グループ④）

町の農業振興に関する取組みの満足度は低く、一般町民は農業施策として何をしているのか知らない場合が多いと考えます。「認定農業者とは何か」「地産地消の推進」「地元の安全な食」などについて、積極的にPRしていくべきです。また、後継者不足など農業者が抱える問題を町民が共有することも必要です。現在取り組んでいる食農推進事業は好評なので、もっと大々的に進めると農業に対する理解も進むと考えられます。

地場産業の振興、企業誘致の町民満足度は低く、原因として、まずひとつは本町に強くPRできる特産品がないのが原因であると考えます。特産品のアイデアや販売する場所など、専門家の協力も得て施策の拡大が必要です。また、町民の工業分野の施策に対する意識が低く、また、町の雇用対策もあまり意識されていないと感じます。

観光戦略では、本町の観光資源である中部公園とコスモス祭を、稼ぐ手法の導入も考えながら様々なアイデアで魅力あるものに変えていくべきと考えます。

■教育・文化分野

基本施策③ 心豊かなまち（担当 グループ⑤）

幼児教育、学校教育の充実の面では、不登校児童、生徒数が共に目標値を達成していませんが、今後も16年一貫教育による保護者教育や健診時の保護者教育に努め、長いスパンでじっくりと取り組むことが必要と考えます。

教育環境整備では、学校安全ボランティア数が目標値を達成できていませんので、対策が必要と考えます。また学校教育環境の満足度が低い結果となっています。要求度が上がっていることも考えられますが、原因の究明が必要です。

生涯学習の推進では、公民館利用者数、講座・教室の参加者数が大きく減少しているため、魅力ある講座の開催など改善が求められます。これは文化・芸術活動の指標数の低下にも影響が出ていると考えます。

スポーツ振興の面では体育施設の利用者数、スポーツ教室参加者数が目標値を大きく上回っており、良好な結果となっています。高齢化が進む本町で高齢者向け健康増進メニューを増やすことも必要です。

青少年の健全育成では、体験学習活動（東員こどもカレッジ）に参加する子どもの数が減少傾向にあるので改善が求められます。

第5次総合計画中間評価会議

評価、検証結果 **詳細版**

平成28年3月

東 員 町

目次

序 第5次総合計画中間評価会議 開催日時	1
グループ別ワークショップの結果概要	2
■グループ① 保険・福祉分野	2
基本施策② 人にやさしいまち	2
1-1. 自らの健康づくりの推進	2
1-2. 地域医療体制の充実	3
2-I. 地域福祉の推進	3
2-2. バリアフリー社会の実現	4
2-3. 高齢者福祉の推進	4
2-4. 障がい者福祉の推進	5
2-5. 社会保障の充実	5
3-I. 子育て支援の充実	6
■グループ② 環境・基盤分野①	7
基本施策① 安全・安心なまち	7
1-1. 消防・防災対策の充実	7
1-2. 交通安全・防犯対策の充実	8
1-3. 消費者保護対策の充実	8
2-I. 市街地・居住環境の整備	9
2-2. 道路・公共交通網の整備	10
基本施策④ 快適なまち	10
1-1. 循環型社会の形成	10
1-2. 自然環境の保全	12
1-3. 景観の形成	13
2-1. 環境衛生対策の推進	13
2-2. 上下水道の整備	13
2-3. 公園・緑地・水辺の整備	14
■グループ③ 環境・基盤分野②	16
基本施策⑥ 語らいのあるまち	16
1-1. 協働によるまちづくりの推進	16
1-2. コミュニティ活動の推進	17
2-1. 情報化の推進	18
2-2. 交流活動の推進	18
3-1. 人権尊重社会の形成	19
3-2. 男女共同参画社会の実現	20
4-1. 町民サービスの向上	20
4-2. 効率的行財政の運営	21

■グループ④ 産業・雇用分野.....	22
基本施策⑤ 賑わうまち	22
1-1. 農業の振興.....	22
1-2. 工業・地場産業の振興.....	23
1-3. 商業・サービス業の振興.....	24
1-4. 勤労者福祉と雇用の充実.....	25
2-2. 観光戦略の展開.....	25
■グループ⑤ 教育・文化分野.....	28
基本施策③ 心豊かなまち	28
1-1. 幼児教育・学校教育の充実.....	28
1-2. 教育環境の整備.....	29
1-3. 生涯学習の推進.....	29
1-4. スポーツの振興.....	30
1-5. 青少年の健全育成.....	31
2-2. 多様な文化・芸術活動の支援.....	31
■自由意見交換 人口減少社会における総合計画施策を考える	33

序 第5次総合計画中間評価会議 開催日時

- 第1回 2015.12.18(金)19:00~21:00 東員町役場 西庁舎2階 201~203 会議室
委員 15名、事務局(政策課) 3名、(株)ランドブレイン 2名

- 第2回 2016.01.22(金)19:00~21:00 東員町役場 西庁舎2階 201~203 会議室
委員 16名、事務局(政策課) 4名、町担当課 11名、(株)ランドブレイン 2名

- 第3回 2016.02.18(木)19:00~21:00
委員 16名、事務局(政策課) 4名、町担当課 10名、(株)ランドブレイン 2名

●評価の基準（3段階）

- … 総合計画に基づき順調に目標を達成し施策が実現されている。

- △ … 目標値を達成できていないが、施策はある程度実現されている。

- × … 目標値を達成できていない。施策もあまり実現できてない。

グループ別ワークショップの結果概要

■グループ① 保険・福祉分野

※成果指標(赤字)はアンケート結果

保健・福祉分野	
委員	とういん未来会議の時の団体名役職など
中野 ひとみ	とういんボランティア・市民活動支援センター
種村 秀光	東員町身体障害者福祉会
濱田 昌義	東員町シルバー人材センター
石垣 毅	東員いずみ作業所
行政職員	所属課
西村 隆嘉	政策課
中村 徹也	健康保険課
中川 賢	長寿福祉課
丸山 太	地域福祉課

基本施策② 人にやさしいまち

1-1. 自らの健康づくりの推進

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	【成果指標】 母子教室への参加者数	
	・ 目標値を大きく達成している。	・ 特になし
×	【成果指標】 特定保健指導受診率	
	・ 目標値に大きく届いていない。 ・ 特定保健指導の認識が町民に伝わっていない状態で放置している。	・ 正しい知識の普及に努める。
×	【成果指標】 こころの健康相談参加者数	
	・ 目標値に大きく届いていない。 ・ 相談に行った際、だれに会うかわからない。近所の方が役場にいる。 ・ 相談者は身近なところには行かない。 ・ 民間の方が適切な指導がある。	・ こころの健康相談は、行政が委託している病院へ直接行く仕組みに変えていく。 ・ 回数を増やす。 ・ 健康相談の質を上げる。相談者の身元等が守られる手法で気軽に参加できる体制を築く。
○	【成果指標】 虫歯数(3歳児1人あたり)	
	・ 目標は達成されている。	特になし
○	【成果指標】 日頃、健康増進のための取り組み(運動や食生活の改善など)をしている人の率	
	・ 目標値は達成していないが、初期値からは上昇している。	・ 今後も現在の様々な取組を継続し様子を見る。 ・ 健康推進団体、グループへの補助、健診結果や年間の医療費の少ないグルー

		プ、個人などへの表彰等。
自由 意見	・ 税相談も行政には行きにくい。（相談しやすい環境づくりを進める）	

1-2. 地域医療体制の充実

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	【成果指標】 町の医療体制について満足している人の率	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値は達成していないが、初期値からは上昇している。 ・ 救急も早い。 ・ 他の町よりは恵まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者への在宅医療→みとりを進めていくべき。 ・ 医療の前にケアマネジャーに力を入れていくべき。
○	【成果指標】 かかりつけ医を持っている町民割合	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内には開業医は多い。 ・ 往診が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢になった際に、かかりつけ医による往診が必要。 ・ かかりつけ医やかかりつけ薬局の問題に医師会等と積極的に取り組むべき。
自由 意見		

2-I. 地域福祉の推進

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	【成果指標】 ボランティア登録者数 【成果指標】 ボランティア登録団体数	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア団体数も登録者数も順調。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報交換を更に進める。 ・ 市民活動拠点を構える。 ・ 行政に頼るのではなく団体自身をもっと考える。 ・ 地域の付き合い(往来)は手間だが、それが助け合いにつながる。 ・ 祭りは地域福祉につながる。 ・ 地域の連携、助け合い。 ・ 地域で支えあう仕組みづくりが必要。シルバーでもやりたい。 ・ ボランティアは、ネオポリスと在来でどちらが多いのか？意識の違いを分析し施策に繋げていく。
○	【成果指標】 認証NPO法人数	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね目標値に近づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし
○	【成果指標】 社会福祉協議会会員数	

	<ul style="list-style-type: none"> 概ね目標値に近づいている。 市民活動は活発。 見えないところで社協はがんばっている。セーフティネットになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会の活動、デイサービスなど、民間でできない福祉を社協が行う。
自由意見		

2-2. バリアフリー社会の実現

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	【成果指標】 歩道整備率	
	<ul style="list-style-type: none"> 概ね目標値に近づいている。 	特になし
×	【成果指標】 町のバリアフリー化への取り組みについての満足度	
	<ul style="list-style-type: none"> 役場トイレ、駐車場など公共施設の改修はされたが、満足度は下がった。高齢化が進んだからか。 	特になし
×	【成果指標】 町の人権教育・啓発に関する取り組みについての満足度	
	<ul style="list-style-type: none"> 目標値を大きく下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育、啓発についての認識が少ないのではないか。
自由意見		

2-3. 高齢者福祉の推進

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
×	【成果指標】 シルバー人材センター会員数	
	<ul style="list-style-type: none"> 目標値を下回っている。初期値よりも下回っている。 定年延長の影響もある。60歳→65歳 老老介護のため、会員になれない人もいる。 高齢者がまだまだ元気で民間で働ける(再雇用)時代。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者まで「何曜日にここに来ればこんなことをやっている」というような場があれば良い。 雇用形態が希望とちがう。フルタイムで働きたい。 健康寿命が高い。原因を調査する予定。(趣味が多いなど) 高齢者の人材バンクが必要。これまでの技術、知識を生かしてもらう。
○	【成果指標】 介護予防(一般高齢者施策)事業の参加者数	
	<ul style="list-style-type: none"> 目標値を達成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
○	【成果指標】 65歳以上要介護認定率	
	<ul style="list-style-type: none"> 認定率が低い。介護保険料が三重県一低額。元気な高齢者が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> なぜ元気な高齢者が多いのか分析すると今後役に立つのではないかと分析する

×	【成果指標】老人クラブ加入率	
	・目標値は達成していない	特になし
○	【成果指標】健康維持への取り組みをしている高齢者割合	
	<ul style="list-style-type: none"> 概ね目標値は達成している 敬老行事の参加率、町は20%、地域は30~40%、自治会に負担。 趣味を持っている高齢者が多い(麻雀、囲碁、将棋などの生きがい) 元気サロンは補助を目的に実施している側面がある。補助がなくなると実施できなくなる可能性がある。 元気サロンは、現在年600万円程支出。仲良しサロンではないかとの批判もある。補助金のあり方について見直し中。 	<ul style="list-style-type: none"> ヤマダ電気で将棋講座をやっている。 高齢者が子どもに教える教室など。 三重県は碁人口が日本一、東員町は特に多い。=趣味を持つこと=元気な高齢者 行政の補助がなくなってきたので、個人が主体となって元気サロンを行っている例がある。(筑紫)
自由意見		

2-4. 障がい者福祉の推進

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	【成果指標】障がい福祉サービスに対する満足度	
	<ul style="list-style-type: none"> 東員町は、農福連携を行っている。障がい者の雇用率は三重県の低いレベルからアップしている。 施策は充実していると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者を対象にした満足度アンケートを行なっても良いのではないか。 障がい児の取り組み(絵、将棋など)で成功している人が日本中には多い。東員町にもそういう指導者や指導の場に力を入れる。 現状は障がい者が集まってバス旅行をしたり、会合でコミュニケーションを取ったりなど楽しい一時を過ごすことができている。
自由意見		

2-5. 社会保障の充実

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	【成果指標】国民健康保険料収納率	
	・収納率は県下一。	・収納率100%を目標が現実的ではな

		い。 ・最低生活は保障する必要がある。
自由 意見		

3-I. 子育て支援の充実

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
△	【成果指標】 子育て支援センター数	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東員町は子育て環境が充実していると聞く。 ・ 子育ての取組みのPR不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもをしっかりと見てほしい。その間働きに出られる。 ・ 1人が保育園で2人目が生まれたら、1人目が保育園に行けないのは制度に問題があるのではないか。改善すべき。 ・ 子育て支援の情報発信は今後も重要。 ・ 放課後こども教室をもっと力を入れて取り組んでいくべき。 ・ 放課後児童の充実、児童館があれば良いと思う。
自由 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教室にエアコンがある。 ・ 中学生医療費補助は良いこと。 ・ 小学生の学力は県内で良い方。全国レベルではどうか？ ・ 待機児童が少ない。 	

■グループ② 環境・基盤分野①

※成果指標(赤字)はアンケート結果

環境・基盤分野①	
委員	とういん未来会議の時の団体名役職など
馬場 順子	東員町行財政検討委員会
岩田 英郎	東員町消防団
大川内 博	笹尾西3丁目自主防犯パトロール隊
加藤 洋一	公募委員
石田 隆	公募委員
行政職員	所属課
小河信彦	政策課
伊藤嘉則	危機管理課
中村幹人	環境資源課
安藤裕之	建設課

基本施策① 安全・安心なまち

1-1. 消防・防災対策の充実

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	<p>【成果指標】 自主防災組織の組織率</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会によっては、災害時に誰が誰を助けるかなどの役割が全戸に与えられ、グループ化し整備されているところもある。 自治会の防災訓練の参加が少ない。西1の訓練は参加者2割。自治会内の案内も少ない。 自治会の防災組織は、自治会の役員が順番で担うので、役員が変わるとやり方や熱心さが変わってしまう。 自治会の加入が落ちている。消防・防災対策にも影響する。高齢化で班長が務められない人が増加、さらに高齢化が進めばもっと状態が悪くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会の組織としてはできている。このままの水準を継続していくことが必要。 女性と高齢者の防災意識をいかに高めていくか。特に高齢者 訓練は回覧だけでは集まらない。各戸配布すべき。 自治会の問題が自主防災組織の問題にもつながっていくので、その対策が必要。
	<p>【成果指標】 火災発生件数</p> <ul style="list-style-type: none"> なし 	<ul style="list-style-type: none"> なし
△	<p>【成果指標】 家庭での防災対策を行っている世帯割合</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭の防災対策目標値が低いのではないかな。 制度の周知が少ない印象がある。7割は必要ではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> 町民が行なっている防災対策が、どの程度やれているか調べて分析することも必要。 耐震診断の制度をもっと在来地区に周

環境・基盤分野①

	<ul style="list-style-type: none"> ・団地と在来では防災対策をおこなっている現実がちがう。家の形がちがう。在来は畑があるので、備蓄意識が少ない。 	知すべき。
△	<p>【成果指標】避難所を知っている町民割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東員町は比較的安全という意識が高く、防災の面で安心して意識が低いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が起きたときの被害状況予想を町民にもわかりやすく説明していく。 ・もっと色々な現実を伝えていくべき。(活断層など)
	自由意見	

1-2. 交通安全・防犯対策の充実

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
×	<p>【成果指標】交通事故発生件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故の発生件数は増加している。イオンが原因であれば、その対策が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化センター前からイオンに行くT字路の対策が必要。 ・イオンであれば町外の人でも事故をする。 ・事故の時間帯、場所、曜日を確認して重点的に対策していくべき。 ・学校の通学指導を継続していくべき。
	<ul style="list-style-type: none"> ・団地の中の青空駐車が多い。 ・刑法犯の認知件数は増加している。イオンが原因であれば、その対策が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パトロール強化。路上駐車をなくすことは刑法犯の減少につながる。 ・刑法犯は重点的に取り組むこと。犯罪別に分析し対策する。注意をよびかける。警察からも情報を得ること。
×	<p>【成果指標】町の交通安全対策についての満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値に届いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故の時間帯、場所、曜日を確認して重点的に対策していくべき。 ・性別、子ども、学校の通学指導。
	自由意見	

1-3. 消費者保護対策の充実

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	<p>【成果指標】消費者相談件数</p>	

環境・基盤分野①

	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値は達成している。 ・NTTなどの幹旋している電話があるので公の機関がやらなくても良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者サギの問題が増えているが、実際の被害を種類別に内容を確認して対応する。 ・消費者相談の敷居が高いのでメールなどインターネットを使用した体制を築くと良い。 ・講座の内容を、寸劇など入れて子どもが興味を持てるよう、イオンを利用して人の集まる所、ステージなどで開催する。役場は敷居が高い。
△	<p>【成果指標】 高齢者向け消費生活講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少し目標値を下回っているので回数の増加に努める。 ・講座内容に魅力が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の内容を、寸劇など入れて子どもが興味を持てるようにすると参加者も楽しい。 ・イオンモール東員を利用して、人の集まる所、ステージなどで開催する。役場ではわざわざ来ようとしめない。
	自由意見	

2-I. 市街地・居住環境の整備

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	<p>【成果指標】 住宅着工件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育ての町として東員町は施策が色々できています。医療費や学校の施設(トイレ、エアコン)の整備など。住宅着工はこれからも増えるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住環境に魅力を整えるべき。 ・名古屋に行くなどの交通の便が良いのも魅力である。 ・子育てしやすい町という印象はこれからも必要。 ・もともと東員町は、名古屋のベッドタウンとして栄えている。これからもベッドタウンとしての魅力をPRしていく必要がある。 ・将来増えていく空き家を町営住宅として利用するのも良いのではないか。
	<p>【成果指標】 町営住宅入居率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に要望が多いのか目標の達成を維持している。新たに建築するのは莫大な資金が必要なので簡単にはできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来増えていく空き家を町営住宅として利用するのも良いのではないか。

△	【成果指標】地籍調査の進捗率	
	目標値に達成していない。	特になし
自由 意見		

2-2. 道路・公共交通網の整備

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	【成果指標】町道改良率	
	・計画通りに進んでいる。	特になし
○	【成果指標】歩道整備率	
	・計画通りに進んでいる。 ・団地の細い歩道の樹木の撤去は、広くなったし、明るくなって良い。	特になし
△	【成果指標】町の道路の整備状況についての満足度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度については、今進めている歩道の街路樹伐採整備が影響して良い方向にいくのではないかと。 ・団地より在来地区の方が道路の満足度は低い。狭い道が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の街路樹について、車イス、ベビーカーが通れないところが多い。 ・街路樹の伐採について、もう少し町から案内が必要。皆さんの理解が賛否両論。
△	【成果指標】公共交通機関の便利さについての満足度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・北勢線は阿下喜まで行く本数が少ない。楚原止まりがある。ここが分かりにくい。 ・オレンジバスは時刻が分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線や時刻は利用者の立場で分かりやすくなるよう努める。 ・お助けネットはサービスを行なっているが事故が心配。同意書をもっている。ここを解決手立てはないか。
自由 意見		

基本施策④ 快適なまち

1-1. 循環型社会の形成

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	【成果指標】町民1人あたりゴミ排出量	
	<ul style="list-style-type: none"> ・数値は横ばいで推移している。ゴミを減らすためには、もう一歩踏み込んだ取組みが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・可燃ゴミの半分以上が水分。この水をどうやって減らすかが課題。 ・ごみの水分を切るには、キッチンなど

		<p>で絞るしかない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町民に意識を持ってもらうよう地道に取り組むしかない。
	【成果指標】 生ゴミ堆肥化容器設置補助金交付件数	
×	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標に達成していない。制度が知られていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 堆肥化容器の取り組みは水分を減らすのにも有効なので、もっと周知などを進めていくべき。 ・ 町に推奨品の展示、全国の商品カタログ幹旋を行ったらどうか。 ・ 町に頼めば差額（補助金分）の支払いで購入できるなど。（事務軽減） カーマ、カインズ、イオンなどで同様なことができるが良い。
	【成果指標】 資源ゴミ回収量	
△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値には達成していない。 ・ フリーマーケットは賑わっていて、良い取り組みとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会によって資源ごみの回収方法に差がある。（拠点回収、個別回収）資源ごみの回収方法で、良い取り組みの自治会を参考にして進めていく。 ・ イオン等に資源ごみを出す人もいるのでトータルで資源ごみの回収が進めば良い。 ・ 粗大ゴミを有効利用するため、使えるような粗大ゴミはひきとるしくみをつくってはどうか。 ・ フリーマーケットを拡大していく。少量で出店までできない人のために、集約して出店する団体があっても良いのではないか。
	【成果指標】 自然保護や省資源・省エネルギーなど、循環に配慮した生活をしている町民割合	
△	<p>初期値よりも下がってしまっているが、環境に配慮した生活が定番化してきて町民の実感が減少したのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取り組みや導入状況などの詳細を確認するため、アンケートの質問内容を変えてみてはどうか。 ・ 太陽光発電など、現実には費用の面で元が取れるかどうかによって決めることが多い。

環境・基盤分野①

×	【成果指標】 3R運動をしていると答える町民割合	
	<ul style="list-style-type: none"> リデュース、リユース、リサイクルの呼び方がマンネリ化している印象がある。 民間のリサイクル業者を利用している人は多い。 役場で掲示しているリサイクルバンクが活発に取り組めているようには思えない。 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルバンクをもっと活発にできるように手法を考える。 シルバー人材センターが粗大ゴミから、直せそうなものを直して売ってはどうか。 緑のカーテンを町民に進めるような取り組みをしてはどうか。
—	【成果指標】 廃食油からのバイオディーゼル燃料精製量	
	特になし	特になし
自由意見		

1-2. 自然環境の保全

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	【成果指標】 環境関係町民団体数	
	特になし	特になし
×	【成果指標】 こどもエコクラブ登録団体数	
	<ul style="list-style-type: none"> 制度をほとんどの人が知らないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> もっと制度を周知し、多くの住民、学校などで進めていくべき。
○	【成果指標】 大気・水質等環境保全監視箇所数	
	<ul style="list-style-type: none"> 団地では、騒音がうるさいなどの印象はない。 	特になし
×	【成果指標】 町の自然環境の豊かさについての満足度	
	<ul style="list-style-type: none"> 初期値より下がってしまっている。 粗大ゴミ置き場の土盛りや太陽光は自然破壊に見えてしまう。 高圧線下の緑地で、松の木がどんどん伐採されている。将来なくなってしまう。散歩をする人も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ポイ捨てをなくす。(特に道路、川沿い、東員病院から下りてきたところ、広域清掃のところ等) きれいだと言わないので、ゴミを捨てられる場所に花壇を作る。または塀をつくる。 松は防虫剤で費用がかかるようであれば、違う木(強い木)を植林してきれいな緑地を目指すべき。
自由意見		

1-3. 景観の形成

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	【成果指標】景観形成活動参加団体数	
	目標値を達成できている。	特になし
○	【成果指標】保護樹木・保護樹林の指定数	
	目標値を達成できている。	特になし
自由意見	団地の街路樹が多く伐採された。落葉、ペットの糞尿対策等の理由と思われるが、景観大気浄化等の面から樹木の植替等を行うことでできるかぎり残すべき。	

2-1. 環境衛生対策の推進

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	【成果指標】花苗植栽面積	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値を目指し、ここ数年は少しずつ増加してきている。 ・ 花苗面積は、団地の歩道の整備で減るのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花で癒される人は結構多いので今後も進めていくべき。
△	【成果指標】不法投棄件数	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 減少傾向にはある。平成26年度で大幅に減少しているので現在の取組みの効果がでたのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビ、冷蔵庫の不法投棄は製品番号で追跡できないか。 ・ 不法投棄も捨てやすい場所が狙われる。よく捨てられる場所に花壇などの対策を行なってはどうか。 ・ 毎年クリーン作戦委員会が主体となっているが、町内住民の意識向上のため回数増を検討したらどうか。（町の一斉清掃日指定「不法投棄防止条例町」のぼり旗を立てる等）
△	【成果指標】葬祭場・斎苑に対する満足度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ満足度が低くなるのか。施設設備か、業者の対応か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの件数を記入した方が良い。 ・ どんな不満があるのか聞いて、何を改善すべきかを明確にすべき。
自由意見		

2-2. 上下水道の整備

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために

環境・基盤分野①

○	【成果指標】水質管理	
	・目標を継続して達成している。今後も継続していく。	特になし
○	【成果指標】水洗化率	
	目標を達成している。	特になし
△	【成果指標】町の下水道の整備状況についての満足度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・初期値を下回っている。 ・下水道整備に関する満足度は、高い値で当然と思われるが、なぜ少し低いのか。 	・不満の要因を調べて対策をとる。
自由意見		

2-3. 公園・緑地・水辺の整備

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	【成果指標】町民1人当たり公園面積	
	<ul style="list-style-type: none"> ・目標は達成している。 ・東員町は公園のイメージは良い。 ・値は人口が減れば上がっていく。 	特になし
○	【成果指標】中部公園利用者数	
	<ul style="list-style-type: none"> ・中部公園は本町の売りとなっている。 ・中部公園にバスで利用する団体がある。パークゴルフ、幼稚園など、駐車場が不足気味。 ・中部公園の健康器具はよくこわれている。利用率が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中部公園の利用者数でパークゴルフ、バーベキュー施設などは、町内、町外の利用者内訳が分かる。利用者の傾向をつかんで今後の対策に反映してはどうか。 ・パークゴルフの利用料など、町内、町外で金額の格差をつける。養老にあるグラウンドゴルフは差をつけている。 ・ジュニアコースも少しは金をとる。 ・大型バスは駐車料金をとる。 ・売店のしくみを考えなおす。
○	【成果指標】アダプト団体数	
	・目標値を達成している。	特になし
×	【成果指標】町の公園・緑地の整備状況についての満足度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・初期値を下回っている。 ・中部公園は良いが、その他の公園の満足度が低いのではないか。 	・もう一步踏み込んだ調査をしなければ詳細まで分からない。

環境・基盤分野①

自由 意見	
----------	--

■グループ③ 環境・基盤分野②

※成果指標(赤字)はアンケート結果

環境・基盤分野②	
委員	とういん未来会議の時の団体名役職など
浅井 清治	公募委員
近藤 百合香	公募委員
辻中 四郎	公募委員
山崎 まゆみ	公募委員
行政職員	所属課
近藤美華	政策課
水谷剛樹	町民課
中村直靖	総務課

基本施策⑥ 語らいのあるまち

1-1. 協働によるまちづくりの推進

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	【成果指標】町のホームページ閲覧件数	
	・目標値には達成している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ版の広報東員を YouTube 版動画としたら視聴率UPにつながるのでは。 ・ホームページの更新をもっとマメにしたら、ホームページを見る習慣が付き、閲覧件数が増えるのでは。
△	【成果指標】NPO 認証法人数	
	・認証数が減っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動支援をもっと行い、活動拠点などを明確にすると関わりをもつ人が増えるのではないかと。(行政との関わり方がわかりにくい) ・NPO 認証法人でなくとも、市民活動を行っているグループの数を目標値にしても良いのでは？
△	【成果指標】町の広報活動に関する取り組みについての満足度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・広報、ホームページに満足している町民は 45.5%しかいない。 ・「広報とういん」は、全戸配布でよく読まれている。 ・「広報とういん」は、楽しみでみている。(自治会を通じて配布) ・「広報とういん」をスマホで見られる 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラムチャンネルを図書館、福祉センターでバックナンバー(1年間)無料で見られる。(ピアゴ、ラッキー、イオンのCMを放送して運営費をもらう) ・「広報とういん」を読む、回覧を読むのは妻の仕事。夫が全く見ないことは問題。妻(女性)だけでなく、夫(男

産業・雇用分野

	ことは良いことだと思います。	性)にも読んでもらえるような紙面づくりに取り組んでほしい。
×	【成果指標】地域活動やボランティア活動に参加している人の割合	
	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果から低い。 地域活動、ボランティア活動をしている町民 26.9%の実数は非常に少なく思われ残念です。もっと地域に積極的に関わろうとする町民を増やさないといけない。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアは無理のない範囲で、自主的な人でないとできない。こういった人を探すには、普段からの近所づきあいを大切にしていかななくてはならないと感じる。
自由意見		

1-2. コミュニティ活動の推進

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
×	【成果指標】自治会加入率	
	<ul style="list-style-type: none"> 今後自治会の加入世帯はどんどん減っていくと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会行事のマナー化は問題。目新しい楽しい企画を考えれば、イベント参加者が増え、加入率増につなげていけるのではないか。 皆が楽しく、アイデアを出し合える機会（場所）をつくるなどの雰囲気作りも大切な要素。
×	【成果指標】地域活動やボランティア活動に参加している人の割合	
	特になし	特になし
△	【成果指標】町事業の委託を受けて公的業務を行う自治会数	
	特になし	特になし
×	【成果指標】地域の行事や近所づきあいが面倒と答える率	
	特になし	<ul style="list-style-type: none"> 東員町の歴史めぐりツアー（施設等をめぐり）などを企画したり、楽しい事から始めてみる（義務感とかやらされ感を失くす）
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> オレンジバス、北勢線を利用して、青少年育成会議、子供会が年に1回か2回、ゲーム（バス停をたくさん通過するコンテスト）などを行う。バス1月券（300円くらい）で乗り放題。 オリエンテーリングでつかってみる。 こんなのあったらいいな。 <p>① オレンジバス1日乗り放題フリーパス（例：300円） 家族券（4人まで1日、300～500円で乗り放題）</p>	

	<p>土日祝日券→100円で1日乗り放題。</p> <p>② オレンジバス家族券1日フリーパス(例:1,000円)</p> <p>③ オレンジバス1日券を首にぶらさげている人は「くろがねもち」のコーヒー無料券プレゼント。</p> <p>・オレンジバスのダイヤを見直してほしい。今使いにくい。現状、ピアゴなど買い物に使えない。文化センターの教室参加に使えない。</p>
--	---

2-1. 情報化の推進

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	【成果指標】 町の情報通信網の整備状況についての満足度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新がどんどんされている。最新情報を得られる。 ・行政情報配信メールが登録している人のスマホやパソコンに配信されるので良い。 ・防災ラジオの各戸整備が他市町より充実している。同報無線があり、災害時情報が伝わりやすい。 ・ひばりホールのイベント案内の更新が昔よりマメになって良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fiスポットが少ない。 ・中部公園に遊びに来られた方がお店を調べられるように。整備する(駅、役場周辺、ひばりホール) ・行政手続きがオンラインで行うことができるようになると良い。 ・映画、ドラマ(TV)作りのFilmコミッションを、いなべ、桑名と協力して作る。映画、TVの映像で、東員町に観光客を呼び込むようにする。 ・行政メール登録者数の増加への取組。 ・ケーブルテレビのパターンがマンネリ化している。内容を検討すると良い。 ・誰でもさわれるように、高齢者用の情報端末を、イオン、1号館、ピアゴ、カネスエ、病院などに自由に触れるように設置する。
○	【成果指標】 町職員に対する情報セキュリティ研修回数	
	特になし	特になし
自由意見		

2-2. 交流活動の推進

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
×	【成果指標】 交流事業参加者数	
	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・町民体育祭、小中学校の運動会などで町内在住の外国人の方との交流を図れると良い。中国、英語、スペイン、ブ

		<p>ラジル、ポルトガル。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民文化祭などで在住外国人の人との交流会に参加できるといい。 ・文化センターでの誕生会、ALTの人も参加していただいて、料理教室などを開く。 ・大台町は飽きてきた？魅力的なイベントに欠ける？大台町のみでなく、よそにも寄ったイベントとする。 ・東員町は人口に対して、外国人の割合は2%だそうです。地域の人とも交流できるといいと思います。 ・相可高校で、東員町の食材を利用してもらい、その昼食を取り入れた大台町との交流会を開いたらどうか。
×	【成果指標】 外国語(併記)刊行物・電子媒体の発行種類数	
	特になし	特になし
-	【成果指標】 海外派遣事業派遣人数	
	中学生のドイツ派遣は廃止となった。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの海外派遣をする。(中学生が中止になったが、自己負担を増やしても再スタートしてほしい)
自由意見		

3-1. 人権尊重社会の形成

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	【成果指標】 人権講演会や研修会の開催件数	
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利条例の制定で、いじめについて対応策が強化された。 ・モラハラ、パワハラ、マタハラは実際に発生しているのに、当事者以外意識が足りない。 ・「青年の主張」と「人権啓発」をコラボして今年開催したそうですが、これは良いことだと思う。(お互いの事業の相乗効果につながる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権に関する啓発、イベントに参加者が少ないので、イベントの中身に工夫が必要。 ・企業、商工会と協力して外国人の方のイベントを考える。 ・外国人の人との交流会等で子どもたちに感想、要望、アンケートを書いてもらう。
○	【成果指標】 人権啓発回数	

産業・雇用分野

	特になし	特になし
×	【成果指標】 町の人権教育・啓発に関する取り組みについての満足度	
	特になし	特になし
△	【成果指標】 人権擁護委員数	
	特になし	特になし
自由 意見		

3-2. 男女共同参画社会の実現

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	【成果指標】 男女共同参画啓発回数	
	特になし	特になし
△	【成果指標】 審議会などにおける女性委員の比率	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ まだまだ男女差別がある。 ・ 女性がリーダー的なこと、責任あることを引き受けようとしらない。 ・ 性別役割意識がまだまだ強い。 ・ 女性がリーダーになるロールモデルが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審議会、委員など東員町の名誉職は男性が大半であるが、その中に女性枠をもうけ、女性も増やしていく手立てを作る。 ・ 性別役割意識の解消には、継続した啓発の必要がある。（意識改革はむずかしいが） ・ 男女で何かをやっていくという状況を作る。 ・ 昔はこうだったというのを、これからは協力してやっていくということを子どもの時からしていく。
×	【成果指標】 町の男女共同参画に関する取り組みについての満足度	
	特になし	特になし
○	【成果指標】 講演会や研修会の開催回数	
	特になし	特になし
自由 意見		

4-1. 町民サービスの向上

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
×	【成果指標】 町職員数	
	・ H21 200人、H27 210人と微増している。	・ 行政／国県、仕事と人とお金をセットで

産業・雇用分野

	国県地方分権で仕事がおりにてきている。 仕事がまわらない。	おろしてもらいたい。
○	【成果指標】職員研修開催(参加)回数	
	特になし	特になし
—	【成果指標】職員の人事評価制度の納得性	
	特になし	特になし
自由 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役場内か商工会館、体育館に「道の駅」の様なものを作ってもらって、売店、フードコートがあるといい。 ・ 中部公園、陸上競技場のどこかにコンビニがあると良い。 ・ 土日にイベントがあると周辺に飲食施設がないのが困る。 ・ 役場ロビーに総合案内カウンターがあり、係の人が常駐してみえて役場来場者に「来場目的」を尋ねて、どの窓口に行くかを教えてもらえるといいなと思う。 ・ 住民アンケートにあった行政職員の規律や窓口対応に取り組んでいただきたい。 	

4-2. 効率的行財政の運営

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
×	【成果指標】財政力指数	
	特になし	特になし
○	【成果指標】経常収支比率	
	特になし	特になし
○	【成果指標】実質公債費比率	
	特になし	特になし
○	【成果指標】町税(現年分)収納率の向上	
	特になし	特になし
○	【成果指標】町税(滞納繰越分)収納率の向上	
	特になし	特になし
自由 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活しやすい健康施設⇒人口増のため(入店者増やす)温水プール、スポーツジム、スポーツセンター ・ 生活しやすいショッピングセンターがほしい。⇒人口増のため(入店者を増やす) ・ オレンジバスの路線見直し=町内各所、商業施設に行ける。 ・ 町民に将来の人口減少(財政)についての教育をする必要がある。(既得権を主張され、補助金削減された事に怒りの町民が多い) ・ ハイブリットパークの立地に、温水プール、健康施設、病院などを誘致できないか。 ・ 運転免許証を返上する人々が住みやすい町にしないとイケない。(運転しなくても住みやすくする) 	

■グループ④ 産業・雇用分野

※成果指標(赤字)はアンケート結果

産業・雇用分野	
委員	とういん未来会議の時の団体名役職など
松野 宏	東員町自治会長会
伊藤 良子	東員町農業委員会
太田 文宏	東員町観光協会
行政職員	所属課
日置貴久	政策課
仲田大介	産業課
加藤京子	(株)ランドブレイン

基本施策⑤ 賑わうまち

1-1. 農業の振興

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	<p>【成果指標】 認定農業者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4件増えているので○ ・ 認定農業者は耕作面積4町以上が必要だが、認定されると補助金が受けやすい。 ・ 後継者がおらず耕作放棄した土地をまとめて認定農業者となる人がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定農業者とは何か、補助金が受けやすいメリットなどシステムが一般町民では分からないので、説明を周知していく。生活していける農業をめざす。 ・ 今後の農産物の流通を考えた場合、借金が増えたり、補助金頼みではない農業施策が必要。 ・ 東員特有の作物をアピール。(京野菜のようなブランド) ・ 道の駅やイオンで地場産農作物の販売をしてもらう。ただ、イオンへの納入は規格、価格等が大変きびしく、現状納入していない。 ・ 遊休地をまとめるような事業を町が進めてはどうか。 ・ 土地に適した作物ができるようにする。 ・ 耕作放棄地は10年後が問題となる。
	<p>【成果指標】 農業経営法人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値は達成している。 	特になし
×	<p>【成果指標】 町の農業の振興に関する取り組みについての満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 満足度は低く× 初期値を下回っている。 ・ 農業に関する意識が一般町民にない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ PR不足 ・ 地産地消の推進、地元の安全な食をアピール。

産業・雇用分野

	<ul style="list-style-type: none"> ・一般町民は農業施策として何をしているのか知らない。 ・他所とくに都会から移入してきた人の農業に対する意識がない。(道路を農薬用車両が通行し泥が落ちることを嫌がる人もいる) ・後継者不足など、農業者が抱える問題を町民で共有されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食農推進事業は、「食育」15組「体験」23組で行い好評だった。もっと大々的に進めてもらおうと農業に対する理解が進む。 ・食物がどのようにして、生産され食卓にあがるのか文化として理解してもらおう。 ・町民が農業、工業の何に対して関心あるかを捉えてアンケートするべき。 ・税金を使うことを納得してもらえよう施策の説明・PRをする。
自由意見		

1-2. 工業・地場産業の振興

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	【成果指標】 商工会員数 <ul style="list-style-type: none"> ・大幅に増えているので2重○としたい。 ・イオン出店者は商工会に入っているのか。その影響であるか。 	特になし
	【成果指標】 特産品認定数 <ul style="list-style-type: none"> ・あまりアピールする特産品がないのが現状。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町が率先してもっと特産品を増やす。 ・販売する場所があるといいが、道の駅はすでに多く、もっと目新しくアピールする販売があると良い。 ・きれいな水を活かして「わさび」の栽培をしてはどうか。 ・員弁川に大きな岩を設置すれば、東員町でも鮎が住みつくから、やなができる。 ・良いアイデアをもった専門家が必要。 ・ネオポリスなどには企業系の人も多く、町内だけでなく外部の横つながりのある人が多い。機会をつくって専門知識のある人を探す。 ・町民からアイデアを募って特産品を創る。
×	【成果指標】 町の地場産業の振興や企業誘致に関する取り組みについての満足度	

産業・雇用分野

	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度が低い。初期値を下回っている。 ・町民の工業分野、施策に対する意識が低い。 ・工業誘致は必要だが、公害を出す企業は困るなどの意見がある。 ・イオンができたことで、パート需要は増えたはずではないか。 ・土地は個人の所有で町の土地はないため、企業誘致の紹介ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用を生み出すためにも工業誘致は必要と考える。 ・地元の優秀な産業をまとめる。 ・東員特有の「空気がよい」「水がきれい」を活かして活用できる産業を誘致する。 ・例えば、先端の航空宇宙産業を誘致すると若い人にもアピールする。 ・東員インター開通後を見据えて通過されるだけの町にしないような施策が必要。 ・運輸・倉庫などの分野も考えられる。
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ・東員町の「空気がよい」「水がきれい」は観光にも活かせる。員弁川で鮎の“やな”など新産業と結び付けて河川を活用する。 	

1-3. 商業・サービス業の振興

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
×	【成果指標】 商工会加盟商店数	
	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値に対して低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加盟するメリットがない。
×	【成果指標】 町の商業環境についての満足度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・値が目標値に達していない。 ・大型店舗以外の商店は不振。 ・地域個人商店、専門店が少ないため不満度が高いのではないか。 ・ネオポリスの商店も古くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・売上を伸ばすためのイベントを行う。 ・中部公園のイベントだけではなく、住民のいる地域各所でイベントを行う。 ・商工会のイベントは奉仕活動で活性化につながるように思えない。 ・フリーマーケットを各所で行えば、活気が出る。 ・朝市なども参加したい人はいるので、HPなどで広報募集する。 ・イベント等で売りたいくても、加工品は保健所の制約があってこれが壁になっている。 ・町と商工会の連携が必要。アンケートの結果を商工会へ持っていき対策を考える。
○	【成果指標】 日頃、町内で買い物をする率	
	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン、ピアゴがあるので町内で買い 	特になし

産業・雇用分野

	物ができる。	
○	【成果指標】 制度融資件数	
	・ 増加している。	・ PRしていく。 ・ 経営の改善をとまなう。
自由 意見		

1-4. 勤労者福祉と雇用の充実

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
国調 後	【成果指標】 就業者数	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ H 2 7 国勢調査の結果に基づく。 ・ 雇用促進の対象者は誰なのか？ (生活困窮者・Uターンなど) ・ アンケートでは町の雇用対策はあまり意識されていない。 ・ 東員の中でも、介護施設での求人は増えているのではないか。 ・ 女性の働きやすさはシンポジウムなど行い啓発をしている。(男女共同参画) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用の相談窓口を作る。 ・ 商工会と情報連携して、町が橋渡しを行う。 ・ 女性が働きやすい職場づくりを商工会と連携して行う。 ・ 地域活性化のためには安定した生活が必要。そのため雇用対策は重要。相談窓口の設置や安定所の出先、商工会と連携して雇用先情報の提供検討することが重要。
国調 後	【成果指標】 高齢者の方の就業率	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ H 2 7 国勢調査の結果に基づく。 ・ 農地を利用して、高齢者、障がい者の雇用を町が仲介している。 	特になし
自由 意見		

2-2. 観光戦略の展開

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
×	【成果指標】 観光レクリエーション入込客数	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値は現在見直し中である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントなどがしやすいよう、様々な規制を緩くする。 ・ 駐車場対策を行う。 ・ 6次産業化など硬い考え方だと、設備投資や雇用までの見通しが必要になる。コンロとナベと人があればできるような気軽なイベント、特産品づくりから始め

	<p>(中部公園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントが少なくなった。 ・ 遊びの要素が昔のまま、目玉がない。 ・ 中部公園も含めてイベントなど行う際に規制が多すぎる。(放鳥をすると危ないなど) <p>(コスモス畑)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来町者の駐車場が少ない。 ・ コスモス畑を作るための畑がなかなか貸してもらえない。転作畑なので補助金が出る作物を作った方がよい。コスモスは根が残り土地を荒らす。 ・ ひまわりなど他の花にしてもよいが、コスモス畑の評判が根付いてきている。問い合わせも結構あるのでもう少し様子を見たい。 	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中部公園にお金をかけるより、近隣の地域公園の充実を求める声もあるので、町民への施策の説明、アピールをしっかりとする。 <p>(中部公園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい観光要素を加える。蒸気機関車、三岐のディーゼル車などの目玉。 ・ ヤギ牧場を作り、乳しぼり体験などを行う。 ・ 中部公園、イベントも含めて稼ぐことを考える。 ・ マルシェで稼ぐ。 <p>(コスモス畑)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場の確保。コスモス畑もイベントもイオンの回りを使えば駐車場もあり、イオンにとっても買い物客が増えるメリットがある。 ・ イオンの回りを使う。若い人もいるし駐車場もある。 ・ コスモス畑を行う地域を、中部公園→イオン周辺、駅周辺と開催地を回してはどうか。 ・ ひまわり畑にして迷路を作る。プラス皆で収穫し油を搾る。 ・ 今後は放棄される畑も出るので活用する。 ・ コスモス畑に貸してもらう場合、転作の補助金より、高い補助金を出す。 <p>(イベント、その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 軽トラ市も参加者は喜んで参加している。世代が偏らない工夫は必要。 ・ インターが開通するので、遊びに寄れるようにする。 ・ バーベキューに来る町外の人も多い。お金を落としていってもらえるように工夫する。(飲料が調達できるなど) ・ お金を落としていってもらうために、
--	---	--

産業・雇用分野

		<p>厳しすぎる規制は見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町とタイアップした婚活イベントを、町の飲食店や中部公園を利用して行う。町主催だと固いイメージなので、町後援イベントにすると安心感もある。参加費 5000 円くらい。 ・ 東員町の員弁川に岩を設置し、鮎のやなをつくる。 ・ 山の尾根筋にトライアスロンなどをつくる。 ・ 農業体験(ブルーベリーのジャム)。 ・ 員弁川河川敷を整備してデイキャンプ場とする。1 グループ使用料 4、5000 円程度。(駐車場、トイレ整備必要、繁忙期のみ管理人おく) ・ 中部公園、陸上競技場に芝桜を植える。 ・ 員弁川堤防に桜を植え、周辺を名所とする。高速道から見え、地域一体が花の名所。桜の下に芝桜(春先)。秋はコスモス等。(員弁川に駐車場、トイレ整備) 中部公園、陸上競技場に芝桜を植えても良い。
<p>自由 意見</p>		

■グループ⑤ 教育・文化分野

※成果指標(赤字)はアンケート結果

教育・文化分野	
委員	とういん未来会議の時の団体名役職など
石垣 光磨	とういんフレンドリークラブ
山田 潔	東員町体育協会
藺部 喜久生	東員町青少年育成町民会議
辻 哲哉	教頭会
中村 昌子	東員町PTA連合会
行政職員	所属課
加藤研二	学校教育課
田中 豊	社会教育課
前田欣也	(株)ランドブレイン

基本施策③ 心豊かなまち

1-1. 幼児教育・学校教育の充実

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
△	【成果指標】 不登校の児童数(小学校)	【成果指標】 不登校の生徒数(中学校)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貧困との関係はあるのか？ ・ 学校によって片寄りがあるのでは？ ・ 中学校 10人と13人。 ・ 不登校のいない学校はない。 ・ 生活との関連少ない。 ・ 母子・父子家庭が多い。 ・ いろいろなことがあって不登校になっている。 ・ 幼稚園で集団に入れられない人が増えているので今後も増える可能性がある。 ・ 対人関係が作れないので、特別支援学級の子どもが多い。 ・ DVが多い。 ・ アパートなどで問題が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 16年一貫教育による、保護者教育を進める、充実させる。 ・ 健診時に保護者教育を進める。 ・ 成果が出るのに、10年かかるのでじっくりとやる。 ・ CLM担当がケース会議に行っている。幼稚園の段階でやっている。効果があるので進める。
△	【成果指標】 目標値に達した児童数割合 (小学校国語、算数、中学校国語、数学)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小1～中3の全部にIRTテスト(4月、11月)実施。各学校が分析の全国平均を上まわっている。 ・ 国語はつくば大学の方式を取り入れているので伸びている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中で学び方を一貫にし、学習方法の混乱をなくし、授業を楽しいものにする。 ・ 家庭学習の徹底をする。 ・ 家でスマホしないようにする。

自由 意見	
----------	--

1-2. 教育環境の整備

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
×	【成果指標】 学校安全ボランティア数	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値に達成していない。 ・ ボランティアの高齢化が問題で増えない。 ・ 団地では高齢者の参加が少ない。(地縁がない) ・ シニア会のおかげで増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 65～70歳の方に入ってもらおうと増える。 ・ ボランティアカードと同じようにポイントをつけて謝金を渡す方法を検討する。 ・ 行政から広報などでPRする。 ・ 自治会に協力をいただく。
○	【成果指標】 児童生徒パソコン整備率	
	・ クラスの最大人数分がある。	特になし
×	【成果指標】 町の小中学校などの学校教育環境についての満足度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初期値より下がっている。 ・ 要求度が上がっているため、満足度が下がる面があるのではないかと。 ・ 東員町は教育にお金をかけているため、在来のみでは子どもが多い。 	特になし
自由 意見		

1-3. 生涯学習の推進

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
×	【成果指標】 公民館利用者数 【成果指標】 生涯学習関連の講座・教室の参加者数	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値に大きく届いてない ・ 公民館講座がマンネリになっているので、利用者が減少しているのでは。 ・ オレンジバスで行きにくい。 ・ 公民館講座が有料になったことも影響しているのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力ある講座、それなりの講師を呼ぶ。
×	【成果指標】 一人当たり貸し出し冊数	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値に届いてない。 ・ 団地の子どもは、図書館が遠いので借りる人が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団地の子どもが図書館に身近になるような取組みを進める。
×	【成果指標】 町の生涯学習活動・文化活動に関する取り組みについての満足度	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値に届いてない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民が何を望んでいるのか把握することが必要。 ・ 情報の伝え方が弱い。 ・ 関心のあるテーマをやる。例えば、健康にかかわること。(認知症、相続税対策、再就職に役立つなど)
自由意見		

1-4. スポーツの振興

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
○	<p>【成果指標】 体育施設利用者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きく目標値を上回っていて、町としての取組みが評価できる。 ・ 施設の改修、いれかえしていかないと利用者が増えない。 ・ 昼間は高齢者の利用も多い。 ・ 夜間は若い人も多い。 ・ 学校の体育館利用も多い。 ・ スポーツ推進委員会が、ニュースポーツをやっているがまだ少ない。 ・ スポーツの団体でも、新しい人が入りにくい雰囲気がある。 	<p>【成果指標】 スポーツ教室参加者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者向けの健康増進のメニューを増やすことが必要。 ・ スポーツをやること、フレンドリークラブ等のPRを強化すべき。 ・ 町の行政メールでPR、案内を入れる。 ・ 町民がよくみる町民カレンダーに入れておく。 ・ 新聞に、スポーツイベント、教室の折り込みチラシを入れる。 ・ プール入場料 100 円を 200 円などにアップしたら税収が増えるのではないか。 ・ プールはキャップなしにすれば、利用者が増えるのではないか。または、かき氷を売る。
	<p>【成果指標】 日常的に(週1回以上)スポーツ活動をしている人の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期値よりは上昇しているものの、目標値には届いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50km くらいのウォーキングイベントをやる。 ・ マラソンを復活させる。(過去には大会があったが、町民の参加が少ないので中止になった) ・ 女性のヨガ教室のように定員増の教室を増やす。 ・ 専門性のないスポーツを広める。 ・ なわとびを広める。
×		

		・学校と地域が一体でスポーツをやる。
自由 意見	・町民運動会で、イベント的なものを増やした方が良いのではないか。	

1-5. 青少年の健全育成

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
×	【成果指標】体験学習活動(東員こどもカレッジ)に参加する子どもの数	
	<ul style="list-style-type: none"> ・減少傾向にある。 ・H25年度～土曜日授業になったことが原因の一つではないか。 ・同じ人が参加している。 ・親が興味を持つかどうかの影響あり。 ・こどもカレッジは、夏休みの課題をやることが多い。 ・子どもは習いごとをやっているのに、行く時間がない。 ・習いごとの先生が、こどもカレッジに行く子どもへの対応が厳しくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親や習いごとの先生の理解が必要。 ・学校でこどもカレッジのチラシを配るときに説明してもらえると良い。 ・子どもたちに伝えて下さいということをお願いして配ってもらう。
×	【成果指標】町の子育て環境についての満足度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・微増はしているものの目標値に届いていない。 ・やや不満、不満は減っている。 ・他市町のことを知らないのでは、満足という感じにならないのではないか。 ・他市町へ移ると、東員の良さがわかったという人がいる。 ・国の指導で点数制で入所が決まるため、兄弟でも違う保育所になるケースがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホの教育を作る。
自由 意見		

2-2. 多様な文化・芸術活動の支援

評価	施策のできているところ／できていないところ	さらに伸ばしていくために／解決していくために
×	【成果指標】文化祭出展数	
	<ul style="list-style-type: none"> ・初期値を下回っている。 ・公民館講座が減っている。(35→25)こととかが原因。 	公民館講座を活性化していく。

	【成果指標】文化協会加入数	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標が高い。 ・ 若い人の参加が少ない。 ・ 若い人は、人と関わるのが苦手な人が増えている。 ・ 良いテーマがあっても、教える人材がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い人が自分で団体を作っていくことが必要。(SNSでダンスを募集したら集まった) ・ 高齢者向けの講座を増やす。
△	【成果指標】指定文化財の数	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財調査委員会に出るが、提案が上がってこないと難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩け歩け運動のときに文化財を回って、興味を持った人を増やす。 ・ 民話の中の場所からウォークラリーなどで回ってもらう。 ・ 調査委員会に上げれば議論できる。
○	【成果指標】伝統芸能保存団体数	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続して維持されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数は補助金を出しているものに限定しているが、独自で管理してもらうことが大切。
×	【成果指標】町の生涯学習活動・文化活動に関する取り組みについての満足度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初期値を下回っている。 ・ 何をしているかわからない人が多い。 ・ アンケートで不満は少ない。どちらともいえない人が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合文化センターの1Fで文化活動としてやっていることを見せる。
自由意見		

■自由意見交換 人口減少社会における総合計画施策を考える

■住環境

- ・ネオポリスマとめて再開発すると入居しやすい。
- ・ネオポリスの再生。若者が住みたくくなるようなシャレた街並みが必要。
- ・「健康施設」誘致。
- ・今住んでいる人が住みやすい、満足する町にしていくことを考える。
- ・今、元気な中高年の方が町外に出かけている所(ショッピング施設、温水プールなど)が町内にできれば住みやすい東員町のイメージUP。
- ・空き家対策、独居老人対策が必要。空き家は町が管理して、委託管理してもらう。単身赴任などで一軒家に住みたい人もいるので、企業に話を持っていき貸す。

■健康

- ・健康個人管理を町の主導で、個人が取り組めるようにソフトを充実する。スマホ等に登録。

■教育

【現状】

- ・家庭環境の変化、親世代の考え方が変わってきている。親の成熟度が欠けている。
- ・家でやるべきことまで、学校にお願いしている人が多い。
- ・子育てに価値観をもってない親が増えている。
- ・親と子の間の信頼感が少ない。
- ・東員町では有子離婚が多い。町外で離婚して町内に帰ってくる人が多い。

【対策】

- ・親に対する教育が大切であり、手引きの配布や、小中の教師が幼稚園で子育ての話をしているのは良い取組みなので続けていくべき。
- ・ノーマライゼーションの社会。学校の先生に対する尊敬がなくなっている。(1980年代から)
- ・お寺の日曜学校で、子どもが年代関係なく遊んでいる地区もあり、そのような環境をつくる。
- ・お年寄りが地域のまちづくりに関わる必要がある。企業OBや専門技術をもった人も多いので、お年寄りの専門知識を生かすことが必要。シニアの人がキャリア教育したらどうか。
- ・町の文化的価値を高める。
- ・16年一貫教育の充実。
- ・子どもが学習面などで、「わからない」と言えるようになることが大切。わからないと発言した子どもをほめることが必要。「子どもの学習について」成績の悪い人(D層)が、わ

からないことを言える環境をつくる。A層の人が教えてあげることのできる環境をつくっている。→先生がシニアクラブで講師になって、教育の本質を伝える。

- ・子どもの学習環境充実については、シニアに活躍してもらおう。
- ・16年一貫教育を進める。その中で、親の教育もしっかりやる。

■文化、スポーツ

- ・地域の文化的素養を高める。
- ・若い人を引き込むことが課題。教えたり、伝えたりする人も少ない。
町民参加型ミュージカルのように、みんなでつくりあげる方向でやる。
- ・ニュースポーツをもってくると、新しくやる人が増える。